

## 国際交流児童アルゼンチン共和国派遣事業・東京オリパラ選手団事前キャンプ誘致に向けた派遣事業

境町では平成28年度より、外国の文化や生活習慣を肌で体感しグローバルな感覚を学ぶ事業として、かねてから境町と交流のあるアルゼンチン共和国に児童を派遣し親交を深めております。

2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたり、境町はアルゼンチン共和国のホストタウンとして国からの認定を受けていることから、境町議会を代表し斉藤議員、須藤議員の2名が、去る11月15日から25日に行われた第2回国際交流児童アルゼンチン共和国派遣事業に同行し、オリパラ選手団の事前キャンプ誘致活動を行ってまいりました。

要請訪問先は、アルゼンチン共和国オリリンピック委員会並びにスポーツ庁であり、11月21日にはオリリンピック委員会副委員長アリシ

アマツソーニ氏と面会し、23日にはオリリンピック委員会事務局長マリオモツチャ氏とも対談することができました。オリリンピック委員会では、境町立長田小学校において毎年アルゼンチン共和国駐日大使を招待し開催されている「アルゼンチンの日の集い」や、昨年2月のブエノスアイレス日垂学院による長田小学校訪問など、長年にわたり続いてきた境町とアルゼンチン共和国との交流の歴史を説明いたしました。そして今回の訪問では、12名の小学生がブエノスアイレスにおいて日垂学院やハボン小学校を訪問し、より交流を深め良好な関係を構築していることなど境町を大いにアピールして参りました。

その中で、スペイン語による境町PR動画の放映、また境町のパンフレットを配布し、圏央道を利用した交通の利便性や施設の内容を説明することにより、オリパラ選手団の事前キャンプ受入に対する思いを伝えてまいりました。

スポーツ庁ホセ・ガルシア・マニョン スポーツ教育局長との対話の中で、具体的にどんな種目の選手団を誘致可能であるか、施設等を見ていただきながら協議を進めることの必要性について説明を

行い、アルゼンチン共和国オリリンピック委員会による境町訪問を願う境町長からの親書を手渡ししてまいりました。

オリリンピック委員会副委員長、事務局長、スポーツ教育局長には非常に高い関心を持っていただき、今年の2月または3月にはオリリンピック委員会で来町するとの話をいただくことができました。

我々議会も、東京オリンピック・パラリンピックに向け基本合意が締結できますよう尚一層努力してまいります。

今回のアルゼンチン共和国派遣事業には、町内各小学校の児童12名と教育長をはじめ町執行部、議会代表2名が同行し参加してまいりました。参加児童からは、在アルゼンチン日本大使館や4つの小学校を訪問することができ、またホームステイ先のホストファミリーとの交流がとても楽しく有意義であったと聞いております。

最後に、ご協力をいただいた皆様に感謝と御礼を申し上げます。アルゼンチン共和国派遣事業の報告といたします。



アルゼンチンオリンピック委員会



スポーツ庁へ親書を渡す

### ◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明